

YP-511

NATURAL SOUND SYSTEM
DIRECT DRIVE PLAYER MODEL YP-511
GUIDE MANUAL

ヤマハダイレクトドライブステレオレコードプレーヤーシステム
取扱説明書



 **YAMAHA**

●ご挨拶

このたびはヤマハステレオレコードプレーヤーYP-511をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。YP-511はDCダイレクトドライブ方式のターンテーブルと高感度トーンアーム、共振を抑えた堅牢なキャビネットで構成され、加えて定評あるアメリカ、シュアー社のカートリッジM75シリーズを標準装備しております。YP-511を長年にわたってお使いいただくため、この取扱説明書をご使用前に是非お読みくださいますよう、お願いいたします。

●目次

規格・付属品	2
プレーヤー各部の名称	3
特長・ご使用になる前に	4
プレーヤーの組立	
ターンテーブルの取付け	5
ダストカバーの取付けと取外し	5
トーンアームの組立	5
針圧調整のしかた	6
オーディオアンプへの接続	7
レコード演奏のしかた	7
他のカートリッジを使用するときは	8
針先の寿命と交換のしかた	8
故障と思われる時には	9
サービスのご依頼について	9

規格 ● 付属品

●規格

■フォノモーター部

駆動方式	ダイレクトドライブ
モーター	DCサーボモーター
ターンテーブル	30cmアルミダイキャスト(重量1.6kg)外周ストロボ付
回転数	33 $\frac{1}{3}$ 、45r.p.m.、2スピード
回転数調整範囲	±6%以上、各回転数独立調整
S/N比	60dB以上
ワウフラッター	0.04%以下(W.R.M.S)

■トーンアーム部

形式	S字スタティックバランス型
トラッキングエラー角	+2.7°、-1°
実効長	222mm
全長	295mm
オーバーハング	17mm
オフセット角	23°
カートリッジ自重範囲	4～13g
ヘッドシェル	EIA脱着可能
針圧調整機構	直読方式0～3g(0.5gステップ)
アーム高さ調整範囲	+3, -1.5mm
インサイドフォースキャンセラー	スプリングによる直読式

■カートリッジ

型式	MM型・シュアー(M75-BM)
針先	ダイヤモンド0.6mil(交換可)
交換針	シュアーN75-6
適正針圧	2.5g
最適負荷抵抗	47kΩ

■付属機構

大型ゴムインシュレーター
ストロボスコープ付ターンテーブル
フリーストップ着脱可能のダストカバー
アームリフター

■電源その他

供給電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	100V/50Hz 3W 100V/60Hz 2.5W
外形寸法(W×H×D)	470×142.4×378
重量	11.5kg

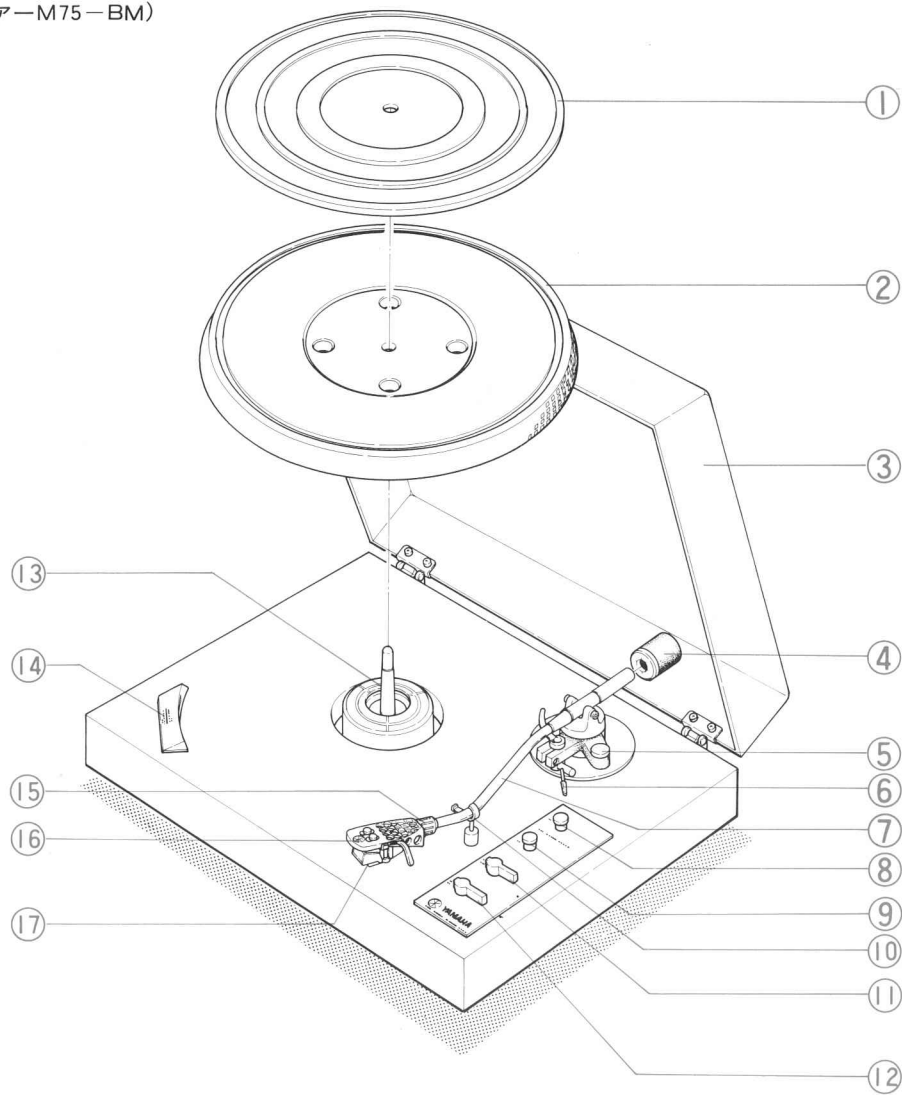
■付属品

EPアダプター
六角レンチ

●上記の規格及び外観は改良のため予告なく変更されることがございます。

プレーヤー各部の名称

- ① ゴムシート
- ② ターンテーブル
- ③ ダストカバー
- ④ メインウエイト
- ⑤ インサイドフォースキャンセラー
- ⑥ アームリフター
- ⑦ トーンアーム
- ⑧ スピード調整ツマミ (45回転)
- ⑨ スピード調整ツマミ (33 $\frac{1}{3}$ 回転)
- ⑩ アームレスト
- ⑪ スピード切換レバー
- ⑫ PLAYレバー
- ⑬ センターシャフト(モーター)
- ⑭ ストロボスコープ
- ⑮ ヘッドシェルロックナット
- ⑯ ヘッドシェル
- ⑰ カートリッジ(シュア-M75-BM)



● 特長

- 8極24スロットDCサーボモーターを採用したダイレクトドライブ方式、低速でターンテーブルを直接駆動する理想的なプレーヤーシステムでワウフラッター0.04%という値を得ております。
- 鉛合金製アームベース(重量1.3kg)を使用し、アームの共振を押えて大型ゴムインシュレーターと共にハウリング対策は万全です。
- 新しい感覚のソリッドタイプキャビネットを用い、ハウリングに強い設計となっています。
- 使いやすい操作パネルや、脱着可能なアクリルカバー、美しいトーンアームなど人間工学を追求したヤマハならではのデザインです。
- トレース能力の高いS字型アームと、音の入口にシユアーM75シリーズを標準装備した音質重視の設計です。
- 回転数はストロボスコープと各回転数ごとのコントロールツマミにより±6%の微調整をすることが可能です。

● 次のことにご注意ください

- 電源電圧は定格の100ボルトでご使用ください。
- 直射日光や火気の強い場所、湿気の多い場所に設置することは避けてください。
- スピーカーシステムの近くや振動の多い場所に設置することは避けてください。床や台はなるべくしっかりした場所を選んで設置してください。
- 接続するオーディオアンプと並べて設置する場合は、YP-511を右側にするようにしてください。カートリッジの近くにアンプの電源トランスが位置すると誘導ハム(雑音)を生ずることがあります。
- 木製のキャビネットを清掃する場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。シンナー系の溶剤などは使うことを避けてください。
- アクリルの上蓋を清掃する場合は、付属のポリッシングクロス、または同系の柔らかい布で乾拭きしてください。
- プレーヤーは、水平に設置してご使用くださるようお願いいたします。
- お買い上げいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店印がなかったり、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくこととなりますので、十分ご注意くださいようお願いいたします。

プレイヤーの組立

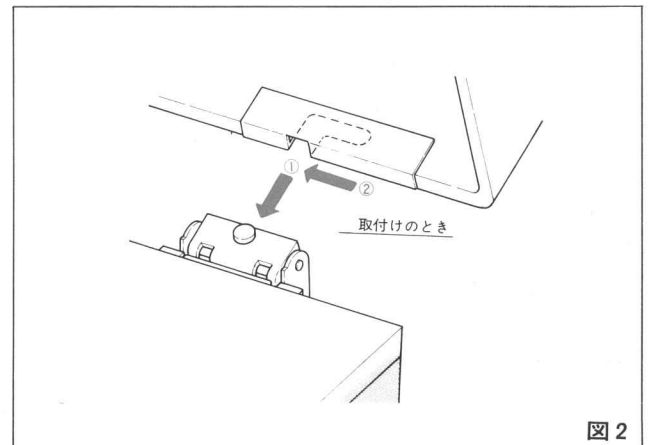
● ターンテーブルの取付け

ターンテーブルをセンターシャフトにはめてください。ターンテーブルの穴に指を入れ、静かに取付けてください。(図1)そのあと、ターンテーブルにゴムシートをかぶせます。



● ダストカバーの取付けと取外し

アクリルカバーは脱着可能になっていますのでご希望により取外してご使用になることができます。出荷時にアクリルカバーは本体より取外されて梱包されていますので図2のように突起と溝を合わせて矢印方向に押しながら取付けてください。また取外すときは取付けるときの逆の操作をすれば簡単に取外しができます。

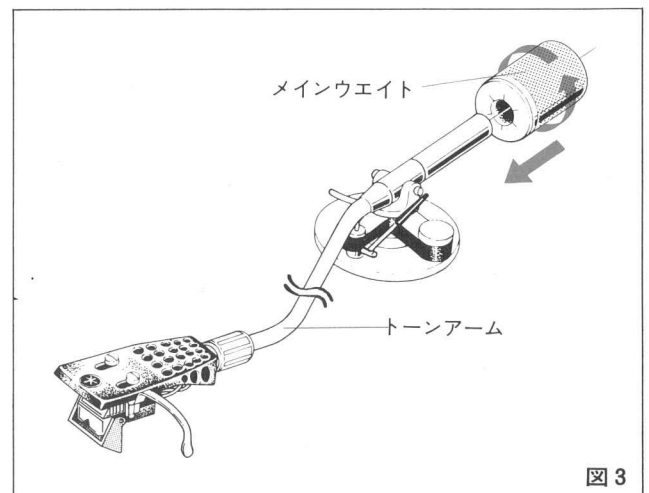


トーンアームの組立て

● トーンアームの組立

■ メインウェイトの取付

- ① 梱包されているメインウェイトを図3のようにトーンアーム尾部に矢印の方向に回しながら押し込みます。
- ② メインウェイト内部に刻まれた螺旋溝とアーム尾部のストッパーがかみ合い、メインウェイトは、アームを正面からみて反時計方向(左)に回すとトーンアーム基部の(前)に、時計方向(右)に回すと尾部の方(後)にスムーズに移動するようになります。



針圧調整のしかた

● 針圧調整のしかた

メインウェイトの組立てが終了しましたら次の手順で針圧の調整をしてください。

付属のカートリッジの適正針圧は2.5gです。

- ① 針先の保護のため針圧調整終了までカートリッジの針カバーは上げないでおきます。
- ② インサイドフォースキャンセラーのダイヤルを“0”にします。
(図4)
- ③ トーンアームをアームレストからはずし、ターンテーブルとアームレストとの中間ぐらいまで移動させます。(図5)
- ④ アームリフターを押し下げますとトーンアームはフリーの状態になります。(図6)
- ⑤ トーンアームが基点を中心に水平バランスがとれるように図7を参考にしてメインウェイトを前後させて調整します。この時メインウェイトはゆっくり回し、バランス具合をみるときはフィンガーから指を軽くはなして見るようにして慎重に調整してください。
- ⑥ バランスがとれた後、トーンアームをアームレストに戻します。
- ⑦ メインウェイトが動かないように、メインウェイト前部のカウンターリングだけを回して数字の0をトーンアーム軸のセンターラインに合わせます。(図8)
- ⑧ メインウェイト後部を回しますとカウンターリングも一緒に回りますので、メインウェイトを反時計方向に回してカウンターリングの数字2.5をトーンアーム軸のセンターラインに合わせます。(図9)
- ⑨ インサイドフォースキャンセラーダイヤルを2.5に合わせます。

以上の操作で正しい針圧がとれたわけですが、カートリッジを交換したり、誤まってメインウェイトを動かした場合は以上の操作をやりなおして針圧をとり直してください。

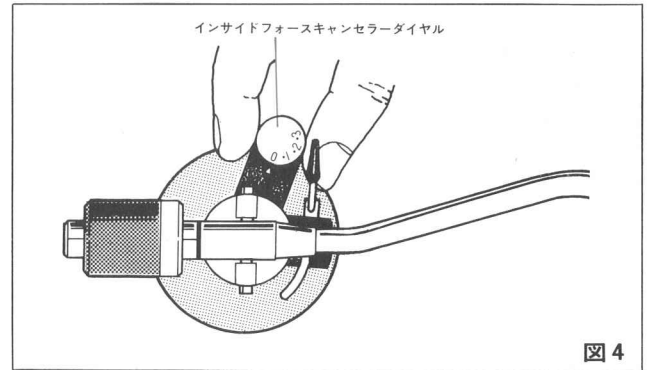


図4

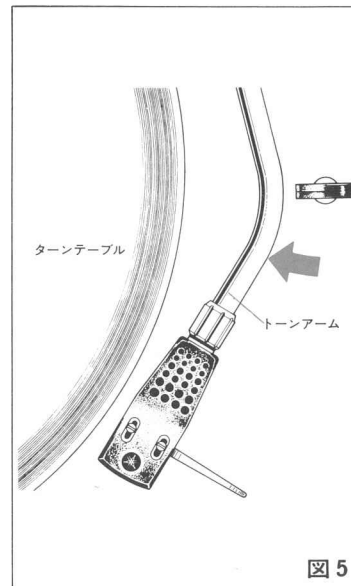


図5

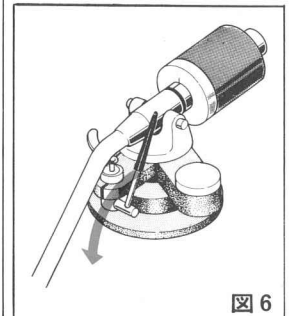


図6

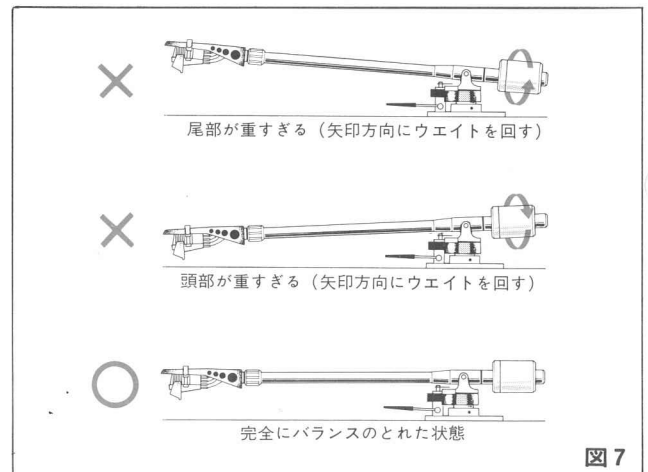


図7

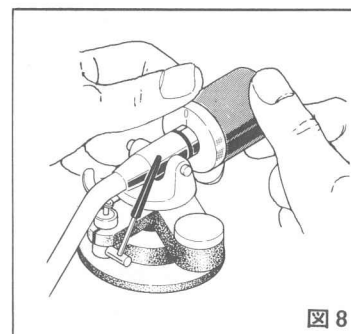


図8

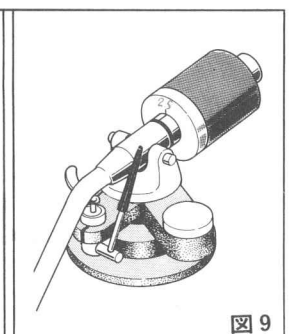
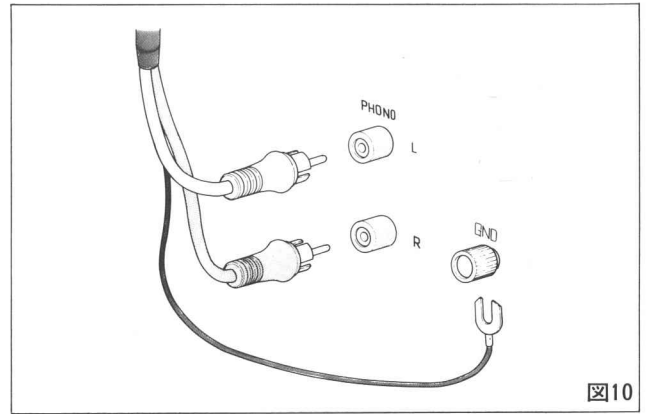


図9

オーディオアンプへの接続 ● レコード演奏のしかた

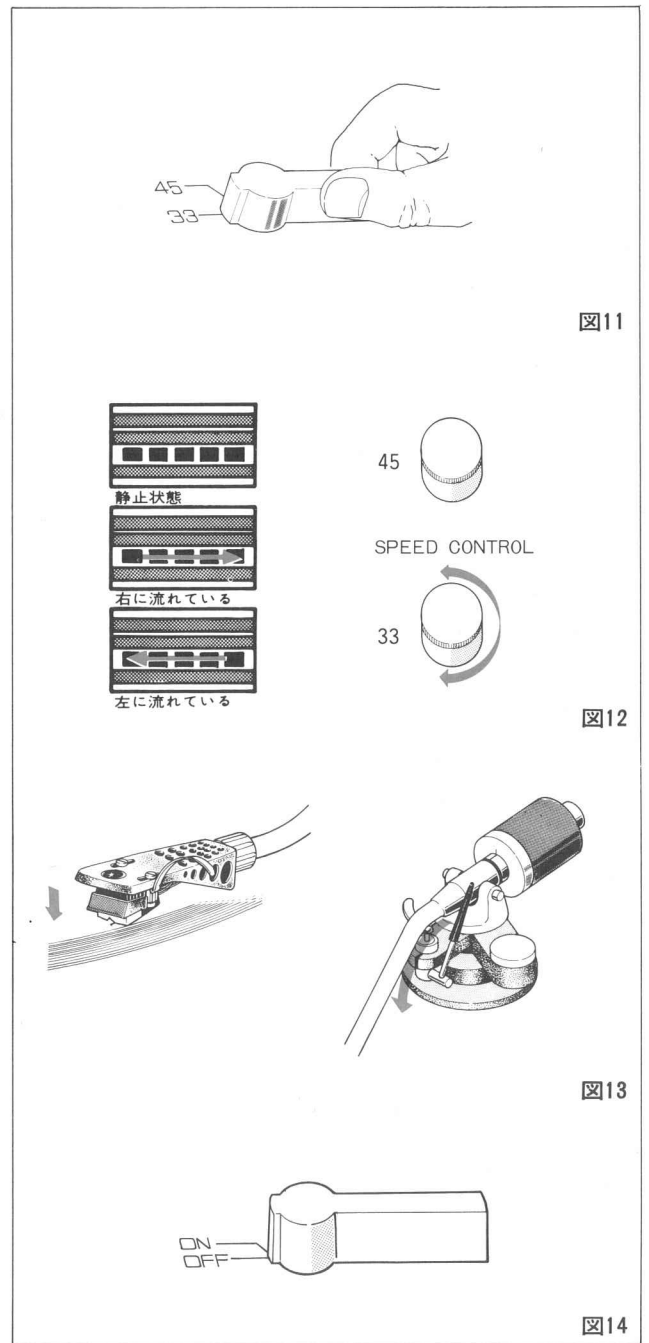
●オーディオアンプへの接続

- ①キャビネット背面より出ている出力コードのL、Rを間違えないように、アンプのリアパネル面PHONO端子へ接続します。ピンプラグ白がLチャンネル、赤がRチャンネルです。
- ②出力コードより出ている黒のアース線をアンプのGND端子へ接続します。場合によっては接続しない方がハムに対してよい結果を得られることがあります。(図10)
- ③プレーヤーの電源プラグをA.C.コンセント(又はアンプのリアパネル面予備電源コンセント)に接続します。



●レコード演奏のしかた

- ①接続したオーディオアンプのファンクションスイッチをPHONOにします。
- ②演奏するレコードをターンテーブルに乗せます。レコードが45回転ドーナツ盤の場合は、付属のEPアダプターをセンターシャフトへセットします。
- ③PLAYレバーをONにセットしますと電源が入りターンテーブルが回転を始めます。
- ④スピード切換レバーをレコードの回転数に合わせます。(図11) このとき、ターンテーブルのストロボが流れているときは、SPEED CONTROLツマミを回してストロボが止まるように調整してください。ストロボは回転が速すぎる場合は左側へ、遅すぎる場合は右側へ流れます。(図12)
- ⑤ヘッドシエルの指かけを持ってトーンアームをアームレストから外し、レコードの上に持っていきます。
- ⑥アームリフターを下に倒しますとトーンアームが静かに盤面に下がり、レコード演奏が始まります。(図13)
- ⑦演奏終了時または途中で演奏を中止する場合はアームリフターを上を持ち上げますと、針先がレコード盤面から離れますのでヘッドシエルの指かけを持ってトーンアームをアームレストまで戻してください。次にPLAYレバーをOFFにしますとモーターが停止します。(図14)



他のカートリッジを使用するときは ● 針先の交換

● 他のカートリッジを使用するときは…

■ 使用できるカートリッジの寸法と自重

YP-511のシェルを使用の場合は、カートリッジの高さが16～21^{mm}以内のもの(図15)、他のシェルを使う場合は自重はシェルとカートリッジを合わせた全重量が12～21gまでのEIA規格のものが使用できます。

(注)交換したカートリッジの針圧調整は針圧の調整の項に従って正しくとります。

■ ヘッドシェルへの取付け

シェル内のリード線は図16のようになっていますのでカートリッジの各ピンに正しく接続してください。(図16)

■ トーンアームの高さ調整

他のカートリッジなどの使用によりトーンアームがレコード面と水平がとれない場合、調整してください。(図17)

- ① ターンテーブルにレコードをセットし、針先をレコード面におろした時、アームとレコード面が平行になる様にトーンアーム軸受部の固定ネジ2本をゆるめ、シャフトを上下して下さい。平行がとれましたら、固定ネジ2本をしっかりとめてください。
- ② アームリフターを上げた時の針先の高さがレコード面より5～7^{mm}になる様、アームリフターの取付ネジを調整します。
- ③ トーンアームの平行調整が終了したら、トーンアームをアームレストに戻し、アームレストの高さをアームがプレーヤーボードと平行になる位置に調整して下さい。

■ オーバーハングの寸法

トーンアームのオーバーハングは17^{mm}に設計されています。取付穴が長穴になっていますので取付カートリッジの寸法によってオーバーハングが図15のように17^{mm}に近くなるように取付けてください。

● 針先の寿命と交換のしかた

針先の寿命はご使用になるレコードの状態によって異なりますが、200～300時間が平均です。針先が磨耗すると音が歪んだりビリついたりする上、レコードを傷める原因にもなりますので、早めに交換してください。交換針はYP-511用シュアーN75-6とご指定ください。

■ 針先の交換

- ① トーンアームからヘッドシェルを取外します。
- ② 古い針先ホルダーを手前に引いて取外します。(図18)
- ③ 新しい針先を②と逆の方法でしっかりさしこみます。
- ④ ヘッドシェルをトーンアームに取付けます。

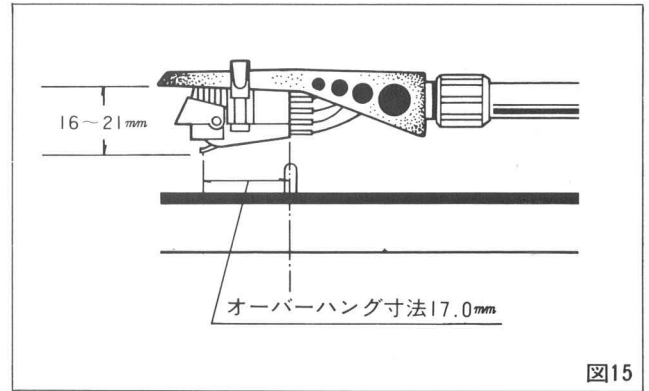


図15

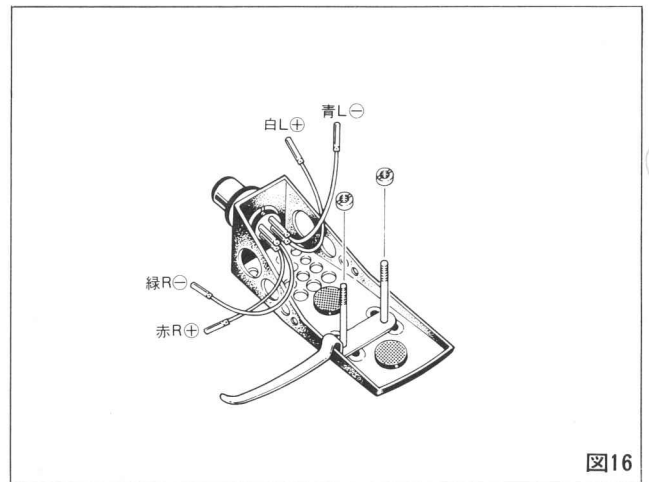


図16

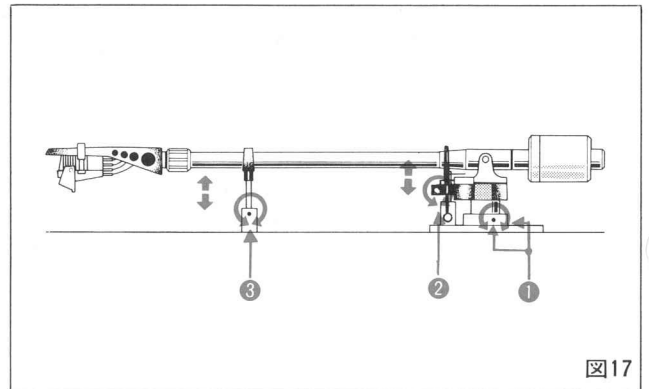


図17

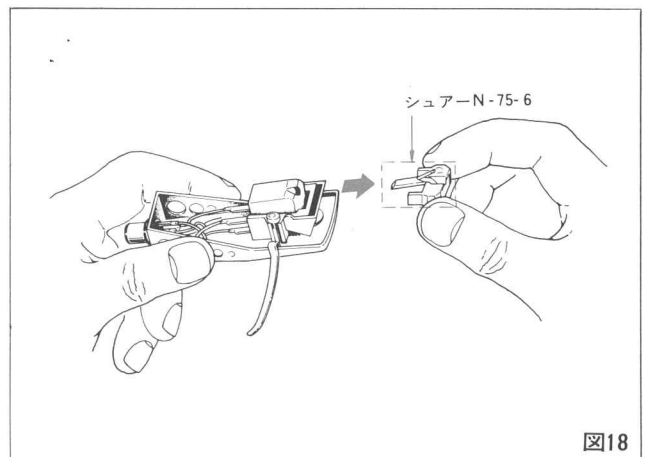


図18

故障と思われる時には……

本機をご使用中に正常に動作しなくなった時は、次の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは疑

問の点がございましたら、お買上げ店又は日本楽器各支店のオーディオ技術係にサービスをご依頼ください。

症 状	原 因	処 置
スイッチを押してもターンテーブルが回らない。	電源コードがACコンセントにしっかり差込まれていない	コンセントにしっかり差込み直す
ターンテーブルの回転が遅すぎる又は速すぎる	調速ずれ	調速ツマミとストロボスコープで正しく調整する
調速ツマミを調整してもストロボスコープの縞が止まらない	調速ツマミの誤調整	調速ツマミの回転数とストロボスコープの周波数と回転数を照合し再び調整する
	ストロボスコープの見間違い	ストロボスコープ横の表示により周波数と回転数を確認し再び調整する
トーンアームが降りない	アームリフターがUPの位置になっている	レコード演奏のしかたの項を参照し正しく操作する

針先をレコード面に降ろしても音が出ない	アンプのファンクションがPHONOになっていない	ファンクションを正しくPHONOに合わせる
	アンプのボリュームが絞られている	ボリュームを適当な位置まであげる
	プレーヤーの出力コードの接続不良	アンプリアーパネルの接続端子を確認する
	カートリッジを交換した場合にトーンアームの高さが不相当でカートリッジの腹がレコード面を擦っている	トーンアームをカートリッジに合った高さに正しく調整する

再生音が歪んでいて聴きにくい、または“チリ、チリ”“パチ、パチ”という音がし、特に高音域がはずんで汚ない	プレーヤーが水平でなく傾いている	水平に設置する
	針先にホコリなどが付着している	針先を柔らかいハケなどできれいにする
	針先が磨耗している	針先を交換する
	レコード自体が傷んでいたり、ホコリやゴミがついている	レコードを新しいものと交換してみる
	針先が軽すぎるか重すぎる	使用カートリッジの適正針圧に調整直す
	アンプの高音をあげすぎている	高音をFLATポジションに戻してみる
再生音がふるえたり、ハウリング（ポワンという音）を起して聴きにくい	プレーヤーとスピーカーシステムの設置場所が近すぎたり、不安定で振動が伝わり共振している	しっかりした場所に移したり、スピーカーから遠ざけるなど設置場所を変えてみる
レコード演奏のとき“ブーン”というハム音が入る	プレーヤーのアース線をアンプのアース端子に接続していない	アース線をアース端子に接続する (接続しない方がいい場合もある)

サービスのご依頼について

●サービスのご依頼は、お買上げ店、または日本楽器各支店オーディオ技術係へお願い致します。

■支店への持込み修理

故障の場合、出張サービスのご依頼をなさらずに、直接ご自分でお買上店又は最寄りのヤマハ各支店へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお得ですし短期間でおなおしすることができます。裏表紙のヤマハ各支店の住所と電話番号をご参照ください。

■各支店住所（オーディオ技術係）

本 社・〒430 浜松市中沢町10-1(電音サービス課)
TEL (0534)61-1111(大代表)

東京支店・〒104 東京都中央区銀座7-9-18(パールビル内)
TEL (03)572-3111

大阪支店・〒542 大阪市南区日本橋1-23(日本一ビル内)
TEL (06)643-3874

名古屋支店・〒460 名古屋市中区錦1-18-28
TEL (052)201-5141

■保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施致します。尚補修用性能部品の保有期間は8年となっております。

■万一お買上店でのごサービスについてのご不満又は製品の不調や疑問がございましたら、ご面倒ではございますが、下記ヤマハ各支店オーディオ技術係にご連絡くださいますようお願い致します。

九州支店・〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092)472-2151

北海道支店・〒064 札幌市中央区南十条西1丁目(ヤマハセンター内)
TEL (011)512-6111

仙台支店・〒980 仙台市一番町2-6-5
TEL (0222)27-8511

広島支店・〒731-001 広島市祇園町西原862(技術センターニシク内)
TEL (08287)4-3787

浜松支店・〒430 浜松市鍛冶町122
TEL (0534)54-4111

日本楽器製造株式会社

本社・工場	〒430・浜松市中沢町10-1 TEL・0534(61)1111	神戸店	〒650・神戸市生田区元町通り2-188 TEL・078(321)1191
東京支店	〒104・東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内 TEL・03(572)3111	四国店	〒760・高松市丸亀町8-7 TEL・0878(51)7777
銀座店	〒104・東京都中央区銀座7-9-14 TEL・03(572)3111	名古屋支店	〒460・名古屋市中区錦1-18-28 TEL・052(201)5141
渋谷店	〒150・東京都渋谷区道玄坂2-10-7 TEL・03(463)4221	九州支店	〒812・福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL・092(472)2151
池袋店	〒171・東京都豊島区南池袋1-24-2 TEL・03(981)5271	福岡店	〒810・福岡市中央区天神1-11/福岡ビル内 TEL・092(721)7621
横浜店	〒220・横浜市西区南幸2-15-13 TEL・045(311)1201	小倉店	〒802・北九州市小倉区魚町1-1-1 TEL・093(531)4331
ジョイナス ヤマハ店	〒220・横浜市西区南幸1-5-1 TEL・045(311)6361-4	北海道支店	〒064・札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター TEL・011(512)6111
千葉店	〒280・千葉市中央4-2-1/まつだやビル内 TEL・0472(24)6111	仙台支店	〒980・仙台市1番町2-6-5 TEL・0222(27)8511
大阪支店	〒564・吹田市新芦屋下1-16 TEL・06(877)5151	広島支店	〒730・広島市紙屋町1-1-18 TEL・0822(48)4511
心斎橋店	〒542・大阪市南区心斎橋筋2-39 TEL・06(211)8331	浜松支店	〒430・浜松市鍛冶町122 TEL・0534(54)4111
梅田店	〒530・大阪市北区梅田1/阪神百貨店5階 TEL・06(345)4731	海外支店	ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・ シンガポール・フィリピン